

弁護士になろうと思って法学科に入学したわけではないんです。地元で学力に見あっていた、ただそれだけです(笑)。1年生の夏頃、せっかく大学に入ったのだから勉強しよう、それも最難関である司法試験に挑戦してやろうと思いつきました。まず、司法試験に関するありとあらゆる情報を入手し、戦略を立てました。それから2年間半、戦略に従って、死にものぐるいで勉強しました。すべて独学です。基本書は5・6回は読んでみましょうか。ただ、私の場合、睡眠をとらないとダメなたちだったので、一日の勉強時間は6時間ぐらいで、そのかわりすごく集中して勉強に臨みました。その結果、20歳で短答式試験に合格、21歳で論文試験に合格しました。在学中の司法試験合格ということ、新聞やテレビでも騒がれたように記憶しています。もっとも、単位が足りず、卒業するのに冷や汗をかいたんですが(笑)

労働問題に携わりたくて東京へ

上京したのは労働問題に携わりたかったからです。学生時代に哲学を勉強したのですが、マルクスの『資本論』を読んで衝撃を受けました。大きさに言えば世界を変えたいと思ったんです。それには労働問題の解決が必要で、企業が多い東京に行けば労働問題の案件も多いだろうと。ところが案に相違して、そんな案件はほとんどない。東京には地縁も血縁もなかったし、とても苦労しました。やむを得ず、民事介入暴力や暴力金融など、ほかの弁護士がやりたがらない仕事を手がけた

岡大異ベンチャーな人紹介

弁護士(東京弁護士会所属)  
**森 健市さん**

高層ビルが立ち並ぶ東京・南青山。ここで事務所を構え、多忙な弁護士業務を営むわたわら、先駆的なオンライン弁護士サービスにも挑む弁護士・森健市さんにその熱い思いを語っていただきました。

▶森 健市(もり けんいち)  
岡山県真庭市(旧・美甘村)出身。  
1981年、本学法文学部法学科卒。  
在学中に司法試験に合格。1983年より東京弁護士会所属。  
2009年6月、twitter(ツイッター)を活用したオンライン弁護士サービス「AskIt! クラウド・リーガル・コラボレーション」を開始。

森さんのツイッター

▶[http://twitter.com/Kenichi\\_Mori](http://twitter.com/Kenichi_Mori)

\*twitter(ツイッター)・・・個々のユーザーが「つぶやき(ツイート)」を投稿することで、ゆるいつながりが発生するコミュニケーション・サービス。2006年7月にObvious社(現Twitter社)がサービスを開始した(wikipedia:「twitter」より)。ブログより手軽に発言できるということで、現在ユーザー数が急増している。

んですが、それらに対する誠実な取り組みが評価されて、人の信頼を得ることができ、事務所を構えることができて今に至る、といったところです。

現在、「派遣切り」や「非正規雇用」など労働問題がクローズアップされています。このような問題に携わって、困っている人々の役に立ちたいと考えています。今こそが、弁護士としてのスタートラインだと思っています。

オンライン弁護士サービスを開始

アメリカでオバマ候補が大統領に当選したとき、いろいろ調べて、ツイッターがその勝利の要因の一つであることがわかったん

です。もともとパソコンマニアで、携帯電話を常に最先端のものに買い換えるほどデジタル製品が好きだったものだから、うちでも導入してみようと考えたんです。ために事務所のスタッフとの連絡用にツイッターを使ってみたんですが、全員の発言が一覧で見れて、ものすごく便利で。とうとうメールをやめてしまったぐらいです。それで、これは顧客との法律相談にも使えるのではないかと考えてはじめたのが「AskIt! クラウド・リーガル・コラボレーション」サービスです。最初は受けると思っただんですが、甘かったですね(笑)。いまだに軌道に乗っていません。やはり人は会ったこともない人にそう

は私がツイッターで「つぶやき」、ツイッターのコミュニティを広げ、その中で信頼を得たらオフラインで相談に乗る、というようにやり方を根本的に変えられないかと考えています。

絶対に勉強してください

私は学生時代、試験勉強だけではなく、歴史や哲学、経済学、原始仏教などさまざまなことを勉強しました。そこで培われた「人のために生きる」という姿勢が、今の私の生き方の基礎となっています。

教育こそが人間をつくります。学生時代にすべきこと。それは絶対に勉強なのです。

たやすく相談などしないのです。だからまず